はじめに

「解決志向」を活かして、とにもかくにも学校現場で役立つ支援につなげる！

これが私たちの本書編纂につながる使命の１つでした。

役立つ支援が優先です。解決志向はそのための１つのツールです。

それには、手軽に効果的に活用できる「解決志向のワークシート」があるといい。解決志向の発想や技法をよく知っていても、あまり詳しくなくても、学校現場で使いやすく、役に立つ。それが大事だと考えています。

でも、なぜ、「解決志向」なのでしょうか？

学校現場では、子どもたちによい支援をしたい、よいクラスづくりをしたいと願っていても、日々の多様な業務は忙しく、時間や労力にも限りがあります。また、「問題」ごとにいわゆる対策を立てるならば、それはきりがなく膨大になるばかりです。

解決志向は、“問題”にではなく、“リソース”（できていることやもっている力）と“解決”（望んでいるよりよい姿、希望する未来）に焦点を当て、具体的な“目標”から解決をつくっていく効果性・効率性の高いアプローチです。解決志向はブリーフセラピーの代名詞でもあり、シンプルで使いやすく、安全で汎用性が高い特徴をもっています。ですから、学校現場には、うってつけ、もってこいなのです。

本書でご紹介するワークシートは、解決志向の技法や発想が織り込まれたツールとして、個別の支援やクラスづくり、開発的・予防的なかかわり、チーム対応や保護者支援、事例検討など、さまざまな教育相談の場面で活用することができます。

どのワークシートも、学校現場にかかわる私たち自身が、日常の業務の中で「ワークシートになっていると便利だな」と思うものを、必要に応じて作成して使用し、修正を加えながら完成させてきたものです。これらのワークシートを学校や先生方に紹介し、実際に使っていただく中で、「自由に使えるように、本にまとめてほしい」というご要望をたくさんいただきました。そんなありがたい声に背中を押され、現時点での集大成として１冊にまとめることとなりました。

2012年に12人の学校現場の先生方とともに黒沢の編著で、『ワークシートでブリーフセラピー―学校ですぐ使える解決志向＆外在化の発想と技法』をほんの森出版から刊行してから、十数年の時が経ちました。本書は、その続編とも言えますが、当然重複するワークシートはありませんし、構成のコンセプトも異なります。前著とあわせ、本書のワークシートをたくさんの方々に広くご活用いただき、とにもかくにも現場での支援や実践に役立てていただけることを心から願っています。

2025年３月　　著者　**黒沢幸子・渡辺友香**